

そよかぜだより

2015
1月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



一月(睦月)

お正月はめでたき日です。お酒を飲む機会が増えるこの時期は、お酒の上手な飲み方についてお話ししたいと思います。

一月は新年会や成人式など、お酒を飲む機会が増えるこの時期は、お酒の上手な飲み方についてお話ししたいと思います。また、一日に飲むお酒は適量を守りましょう。日本酒では一合、ビールは500ml、ワインは1杯、焼酎は50ml程度が目安です。女性は年齢の半分の量を飲むことがおすすめです。

次に、お酒を飲む際の飲みまじり。食べ物や胃腸の粘膜を保護し、アルコールの吸収を穏やかにしてくれます。適量のお酒は食欲を増進させ、血行を促し、疲労を取り除く効果があります。ただし、飲酒後は水分をしっかりととり、翌朝は十分な休息をとることが大切です。

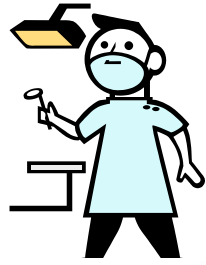
1月の 担当医診療変更のお知らせ

中島義雄先生

1月24日(土) 休診

(院長は通常通り診療)

衛生士の変更



1月28日(水)

山本休み、加藤に変更



漂白治療の診断基準

FeinmanのTC変色分類(1987)

| 分類 | 変色の程度 | 漂白可能性 |
|----|---------------------------------------|-------|
| F1 | 淡い黄色、褐色、灰色、歯冠全体が一様に着色されていて、縞模様はみられない。 | ◎ |
| F2 | F1より濃く、歯冠全体が一様に着色されていて、縞模様はみられない。 | ○ |
| F3 | 濃い灰色、青みがかった灰色で縞模様をともなうもの。 | △ |
| F4 | 着色が強く、縞模様が著名なもの。 | × |

今回は、前回お伝えした歯の漂白法の適応条件についてお伝えします。禁忌症として歯の漂白剤に対するアレルギーを持つ方、ヘビースモーカー、極端な着色物や酸性食品の嗜好の方、無カタルーゼ症(皮膚病をオキシドールで消毒しても発疹しない方)などが挙げられます。そのほか、左の図並びに表に示すような診断基準があります。この中でF1からF4のうち、歯の縞模様がないうF1またはF2で確実な漂白効果が認められるとします。F3に関しては歯の縞模様の部分に補助的な方法が施せないと一部の症例に関しては漂白が難しいとします。それ以外の症例に関しては歯の型を採る方法や、審美的回復が可能な場合があります。F4の場合は、詳細な検査が必須となります。F1からF3の症例が大半です。

新しいスタッフの紹介

アシスタント 加藤 菜実

初めまして。
去年の10月からアシスタントをしている、加藤菜実です。
アシスタントの仕事は初めてですが、
持ち前の明るさで、皆様をお出迎え出来るよう
頑張りますので宜しくお願いいたします。



院長の ご挨拶

そよかぜ歯科医院は平成10年1月の開設以来、多くの患者様に来て頂戴しました。その間、多くのスタッフや関係者の方々に支えられてきました。現在は常勤、非常勤スタッフを合わせ、14名の運営となっております。開業当初、歯科用ユニットを創設した医院がほとんどありませんでした。少しずつですが、院内設備、スタッフも充実したかと感じています。

最近、北原歯科衛生士専門学校の実習生を受け入れておりますが、今後、歯科医学教育の育成も考えたいと、更に外部からの臨床実習の場としても地域の歯科臨床場として、お口をお預かりしたい、皆様の健康向上の場としても研鑽を重ねたいと考えております。

今年も皆様にとって幸せな年となる様をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。